

自分に任された仕事に誇りをもって、心を込めて取り組める人は素敵です。仕事を成し遂げたことで、周りの人も自分も嬉しい気持ちになります。誰かのためになる力を惜しみなく発揮して、九小をよいことでいっぱいにしましょう。

<朝会で話した主な内容> テーマ:「見えないところにこそ」

隅々まできれいにする、という言葉があります。子どもの頃、机や椅子はごみを引きずらないように抱えて運ぶこと、机の角までしっかり拭くこと、板の目に沿って端から掃き、ごみを残さないことを教えられました。九小の皆さんも、同じようにやっていると思います。上の学年になると、階段掃除やトイレ掃除などクラス以外の掃除場所も任されるようになって、責任ある仕事をするのが嬉しかったものです。人が見ていても、見ていなくても、心を込めて物事をやり遂げたときの気持ちよさを学んだ気がします。

いい仕事をする、それは自分なりに工夫することだと思います。ただ何となくやるのと、使う人や相手がどうしたら喜ぶだろうと考えてやるのでは、出来上がりが変わってくるはずです。係や当番、委員会の仕事もそうですが、決まった仕事でなくても自分にできることを見つけたら、見過ごさず行動できるといいですね。九小には、501名の子供と大勢の教職員がいますから、みんなが一日一つ良いことを心掛けたら、学校中がよいことでいっぱいになります。

木の根っこも、建物の土台も、見えないところが見えるところを支えています。見えないところが本物にならないと、見えるところも本物になりません。皆さん一人一人が自分のやっていることに誇りを持ち、心をこめて物事に取り組んでほしいと思います。そして、自分を甘やかさず、豊かで確かな自分に育ててください。

- 1 僕は先生の話聞いて、見た目より先に土台を磨こうと思った。土台を磨いていなかったら、見た目もできない。
- 2 隅々まで掃除をするように心がけようと思った。椅子、机を持ち上げて運ぶ、よりきれいにできるように工夫する、ということが、みんなのためになっていく。特別な掃除場所は、信じてもらっていいこと。高学年の意識をもって掃除したい。
- 3 心に残ったことは、「自分に甘くしない」ということです。今まで私は、机を引きずっていたり、少しさぼっていたりしていました。それじゃあ、だめだなと思いました。新一年生が入ってきて「最高学年として掃除頑張らなきゃ。」と思いました。
- 4 一番心に残ったのは、「隅々まできれいにしよう」のところ。なぜなら僕は、目に見えるようなゴミなどをたくさん掃除していて、端っこなどの小さなゴミをあまり掃除していなかったから。僕は、端っこも掃除することを意識しようと思います。
- 5 目に見えなくてもしっかりと支えるために、見た目だけがきれいでも、土台がちゃんとしていないとだめ!! なぜなら、土台がしっかりしてないと、建物が壊れてしまうから。私は、みんなが見えないようなところも、隅々まで掃除などをしようと思います。
- 6 一番心に残ったのは、見えないところでもちゃんとする、ということです。理由は、見えるところばかり頑張ってもしょうがない、と私も思ったから。なので私は、見えるところも見えないところも頑張りたいです。
- 7 心に残ったことは、「見えるところでやるんじゃなくて、見えないところでやる」という言葉が心に残りました。「掃除は、見えるところだけじゃなく、隅々までやる。先生がいないところで自分がやる。それがすっきりとする。」と言っていました。これから、見えないところでも、どんどんやってみようと思いました。
- 8 九小の環境をよりよくしたいと思いました。私は今まで、教室の隅々までやろうと思わなかったけど、これからは、どこの掃除場所でも丁寧にやろうと思います。
- 9 どんなことにも丁寧に取り組むということが、心に残りました。今まで掃除をやる時は、机を引きずって運んでいたけれど、これからは机を持ち上げて運ぼうと思います。
- 10 今年は昇降口と職員昇降口が掃除なので、6年生として任されたという気持ちを持ち、掃除をしたいです。僕は、掃除で職員昇降口の掃除を頑張りたいです。理由は、お客様などがそこから入るので、入った瞬間にきれいですね、と言われるように頑張りたいです。
- 11 一人一ついいことをするということが、思いやりの気持ちやものを大切にしたりすること。一人が一つずついいことをやっていけば、500以上のいいことが毎日増えていく。掃除を隅々までやったら気持ちよくて、もっといいことが増えると思うから、いい九小になると思う。